

ファッション通信

2017年 発行
第5号

— 主人公はあなたです —

子どもは子ども、あなたはあなた。
みんなありのままの自分でいてほしい…。

いつの時代でも、制度が変わっても、地域や年齢や障がいに違いがあっても、みんな同じ。壁にぶつかり、悩み、時に苦しむこともあるでしょう。そんな中で、頑張っているあなたへ——
自分を大切にしながら安心して笑顔で子どもと向き合ってほしい。そんな思いで活動しています。

平成28年度 家族支援事業部 実施報告

実施日	内容（開催地）	参加数			ファシリテーター	備考
		会員	会員外	合計		
9/18(日)	家族支援ワークショップ（あさひあ〜と）	16	1	17	3	主催：川口手をつなぐ親の会
2/17(金)	家族（きょうだい）支援講演会（県民健康センター）	20	1	21		有馬靖子氏をお呼びしての講演会
5/29(日)	ぷちワーク（熊谷新堀公民館）	30	10	40		熊谷市障がい者青年学級 総会
6/16(木)	ぷちワーク（鴻巣市総合福祉センター）	15	0	15		鴻巣市親の会 役員会
6/22(水)		25	0	25		// 全体会

28年度を振り返って



28年度も家族支援事業部は、新井由加里部長を中心に活発な事業展開をしました。ワークショップ開催のほかには有馬靖子先生をお招きして「障がいをもつ子のきょうだい支援」というテーマできょうだい支援の研修会を初めて開催しました。知的障がい者の問題は日本ではまだまだ家族だけの問題です。昨今、少しずつ親への支援は取り上げられてきましたが、本人と同世代を生きるきょうだいの支援は諸外国に比べとても遅れています。

家族支援事業部は、親もきょうだいも、もちろん本人も支援していきたいと思っています。人の心の支援には、「これ！」という正解はありませんが、知的障がい者の家族みんなが社会から孤立しないように、少しでも生き易くなるように、これからもさまざまな問題を提起し、研修会や講演会、ワークショップも開催していきたいと思っています。

月並みな言葉ですが、未来は変えられます！たとえ過去が変えられなくても。

29年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。☆彡（—）!! 業務執行理事 高野 淑恵

目次

- 1P・・・平成28年度実施報告
- 28年度を振り返って
- 2P・・・ワークショップ（川口親の会）
- ぷちワークの実施と啓発活動について
- 3P・・・きょうだい支援講演会
- 4P・・・「関ブロ千葉大会、登壇します！！」

9/18 (日) 家族支援ワークショップ (川口親の会)

会場：あさひあ〜と
参加人数：17名
(内非会員1名)

川口親の会さんの「140名程の会員のほとんどが高齢化し、会の維持が精いっぱい。それでも会の活動を少しでも活性化したい」との思いから、ワークショップを開催したいと声がかかりました。



<ワークショップに参加して…>

自分のために何かをやりたい、やろうと思う。行動に移せないのは、子供や家族が先で自分のことは後回しになるからと思っているが、これは言い訳かも。自分が踏み出せないだけ。

と気づき(認め?)皆でウンウン(*-ω-) 子離れできない自分を再発見したというひと!



心を全開にできた人もいれば、半開の人もいたと思いますが、そんな中、パパさん2名の

「ぷちワーク」の実施報告と啓蒙活動について

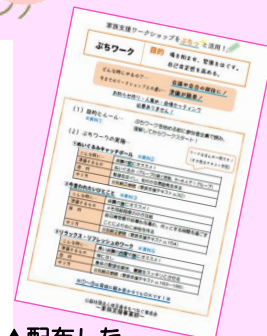


11/4(金)「理事・会長会」で、家族支援のワークの中から「ぬいぐるみキャッチボール」をみなさんに体験してもらうため、準備を進めていました。

ところが当日は高崎線がストップしていて予定通りにはできず、資料配付とデモンストレーションというかたちになりとても残念でした。

それでも楽しさは伝わったかなと思います。また機会をつくりみなさんに体験してもらいたいと思います。

部長 新井 由加里



▲配布した「ぷちワークのすすめ」

5/29(日) …熊谷 (会場：熊谷新堀公民館)

青年学級の総会で、ぷちワークをやってみました!

総会の始まりに15分間時間をいただいて、約40人程の保護者に向けて「導入ワーク」のぬいぐるみキャッチボールをやりました。

はじめてのデートは?好きなタレントは?のお題に恥ずかしさや

笑いを交えて大盛り上がり!! 今日から会員になった若いお母さんも、にこやかに参加していました。その後の総会も和やかにスムーズに・・・(^▽^)

佐藤 早苗



6/16(木) 22(水) …鴻巣 (会場：鴻巣市総合福祉センター)

ワークショップを多くの方に知っていただく意味で、ぷちワークを行いました。

内容は、自己紹介ゲームで始まり、自分にかけて欲しい言葉を互いにかけてあうという簡単なものですが、はじめに「目的とルール」を説明することで、安心して参加していただくことができました。「ぷち」ワークでしたが、会員同士の共通点を見つけることができ、より親しみを感じるようになった気がします。

山崎 久美江

2/17 (金) きょうだい支援講演会

「障がいをもつ子のきょうだい支援」

～きょうだいが持ちうる悩みと成長の可能性、
周りの大人ができる支援策について～

会場：埼玉県県民健康
センター 中会議室
参加人数：21名
(内非会員1名)



講師：
有馬 靖子 氏
(きょうだい支援を
広める会 代表)



◀きょうだいに出来る支援とは？
真剣に聞き入っています。



～講演会に参加して～



以前から兄弟のことは気になっていて、障がいのある長男の3歳下の次男が就職で家を出てから、特にその思いは強くなってきたので今回の講演はとても良いタイミングでした。

先生は妹さんに障がいがあり、後見人でもあるとのこと。ご本人としての言葉には説得力があり、心に刺さるものがありました。「全てを任せる親も、あなたにはあなたの道をと情報を与えない親もよくない」「親は半生。兄弟は一生」「親に障がい児を話せる仲間が必要なように兄弟にも仲間が必要」… 本人に兄弟をとという思いはあっても、弟に妹か弟をとという余裕がありませんでしたし、同じ立場の仲間作りの機会もあまりありませんでした。弟には「好きなこととして負担はかけないつもり」とも言っていました。でも弟にも何かの責任が発生することを再確認した2時間でした。今、成人になった弟に何が出来るか考えると、兄の生活設計をきちんと立て情報を整理し共有する、先生のお勧めの兄弟支援のサイトや本をさりげなく提供するくらいしか思いつきませんが、兄弟といっても喧嘩もしたことがないくらい兄弟らしくなく、かといって一人っ子のように手をかけてもらっていない弟の将来にも遅まきながら心を配ろうと思いました。

川島町育成会 佐藤 菊江

我が家には、中学一年生の知的障がいの息子と、小学三年生の娘（障がいはありません）がいます。二人目の子どもができた時、「お腹にいるこの子に障がいを持っているお兄ちゃんのことを背負わせてしまうのか」と思いました。

娘はどうお兄ちゃんのことを理解していくのか、自分の将来を考えた時の悩みや不安に、親はこれからどうしていったら良いのかを色々と考えていかないとと思っていた時に、今回の研修会でした。

- ・健全児との時間をつくる。 ・仲間と出会う機会をつくる。
- ・障がい児の成長記録をつけて、将来の計画を立て、伝える。

先生のお話の中に、きょうだいを支援したいと思ったら、まずそのきょうだいの話を聴くこと…私もそう思いました。

きょうだい支援が広がり、幸せに過ごせるといいと思います。

有馬先生、ありがとうございました。

北本市親の会 秋山 由美子



関フロ千葉大会、登壇します！！

「7月の関東甲信越ブロック大会の分科会で、家族支援をやることになったので協力してほしい」と、家族支援プログラムの開発者でありファシリテーター養成講座でお馴染みの吉川かおり先生の推薦で、千葉県まんま隊(※)さんよりお話がありました。

以前から、他県で活動している方と交流したいという思いもあり、しかも先駆けである千葉県のまんま隊さんと交流できる！ということで、分科会での役割等は深く考えずチャンスだと思ひ協力することに決めました。結果、登壇することになり真っ青ですが(^_^;)

分科会でのシンポジウム発言資料を作るにあたり、活動のきっかけを思い出してみました。

初めてワークショップに参加した時、「わー！このプログラムすごい！みんなに体験してほしい！」と感動したのです。それをきっかけにファシリテーター養成講座を受講しました。

熱心に育成会活動をしている人はその活動の中で自分を肯定できる場面がたくさんあると思いますが、自分の中で悩み苦しんでいる人も多いと思うのです。だから「自分で自分を見つめ直し、気づき、自分を肯定できるように変わってほしい。自分の人生を大切にしてほしい。」そんな思いでファシリテーターのみなさんと勉強し、試行錯誤しながら活動してきました。

分科会の打合せ会場は船橋です。慣れないこともあり正直遠いです。でもそれ以上に他県の活動内容を知り、それを生かしたい、つながりを持ちたいという思いが勝っています。

この機会を下さったまんま隊のみなさん、そして推薦してくださった吉川先生そして同行してくれる部員のみなさんに感謝します。

これからも家族支援ワークショップを体験してもらえよう必要性を発信していきたいと思ひます。若い人のプログラムだと決めつけないで、是非一度体験して下さい。そして自分を解放して下さい。

※まんま隊…千葉県手をつなぐ育成会 家族支援プロジェクト

部長 新井 由加里

★ 29年度今後の予定 ★

- ・10/30(月) 10:00~12:00 クレア鴻巣 大会議室B
「家族支援ワークショップ」講師：吉川 かおり 氏
- ・その他各市町村での家族支援ワークショップ 等々…

詳細決まり次第お知らせいたします♪

家族支援事業部メンバー 通称『ファッシー隊』

高野 淑恵(越谷)・新井由加里(鴻巣)・佐藤 早苗(熊谷)・長島 幸枝(北本)・山崎久美江(鴻巣)

【連絡先】 公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 2-15-3 母子福祉会館内

Tel:048-833-0444 fax:048-833-0400 Mail:saitama@ikuseikai.jp

